

運営推進会議等開催報告書

令和2年 12月 日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	上田 稔	電話番号	970-9101

1 開催予定日	令和 2年 12月 日 ~
---------	---------------

2 書面開催	書面開催の理由:コロナウイルス感染拡大防止の為
--------	-------------------------

3 出席者			
7 人	(1)	松山市保健福祉部介護保険課 松山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所ひろた 民生委員 民生委員 地域包括支援センター小野久米 グループホームご家族様	
	(2) 職員 3 人	施設長 グループホーム管理者 計画作成担当者	佐々木 忍 飛鷹 美知子 上田 稔

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	感染状況を見ながら、行事等楽しみのあるものを継続して提供をお願いします。
--------------	--------------------------------------

6 主な要望、助言等	
①	注意していても事故は起きてしまうが、事故件数が多く、ヒヤリハットが少ないのが気になる。
②	まだまだ寒い時期ではあるが、周辺の散歩や日光浴などの実施で、できるだけ屋外に出る機会を作り、ストレス解消を。
③	コロナ禍での看取り介護もあり、面会制限のある状況で、ご家族にどのような配慮をされたのか等、教えてほしい。
④	コロナの中、安心して預かっていたに感謝の気持ちで一杯。ずっと会えていませんが、今までの信頼はゆるぎません。
⑤	入所されている方々が生き甲斐の持てる生活ができるようお誕生会をはじめ、楽しい行事を実施しており、コロナに負けない活動ができている。研修会・勉強会に積極的に参加され、しっかりとした研修をされている。
⑥	新型コロナ感染予防を行いながらの行事開催大変かと思うが、グループホームならではの行事提供できている。
⑦	服薬ミスに関しては、服薬困難な事例が多いのでは？運営推進会議が通常通り開催できれば、口頭で説明できるが、文書で件数だけの報告となると、内容が分からない場合もあるので、何か良い方法があればと思う。

7 要望、助言に対する考え方	
①	ヒヤリハットの記入漏れも考えられるので、記入が必要なケースやヒヤリハットの考え方を、再度職員に周知する。
③	面会制限を行っているが、看取りの方は特別に、キーパーソンの方に限り、十分な予防と健康チェックの上、直接お部屋で面会をしていただいている。
⑦	服薬ミスは職員のミスもあるが、助言いただいたように、服薬介助したあとに入居者が吐き出し、後で発見するケースもある。その区別は難しいので、服薬方法を見直すなど、件数を減らすようにしていきたい。

8 その他特記事項	

運営推進会議等開催報告書

令和2年 12月 日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	二神 靖夫	電話番号	970-9101

1 開催予定日	令和 2年 12月 日 ~
---------	---------------

2 書面開催	書面開催の理由:コロナウイルス感染拡大防止の為
--------	-------------------------

3 出席者		
(1) 5 人	松山市保健福祉部介護保険課 松山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所ひろた 民生委員 民生委員 特別養護老人ホームご家族様 地域包括支援センター小野久米	
(2) 職員 3 人	施設長 生活相談員 生活相談員	佐々木 忍 二神 靖夫 横山 恵美

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	
--------------	--

新型コロナウイルス・インフルエンザやノロウイルス等の食中毒について対応していると思いますが、引き続き感染予防に万全を期してください。また、利用者並びに職員の健康管理に留意してください。

6 主な要望、助言等	
------------	--

- ① 注意していても事故は起きてしまいますが、今回の報告では件数の多さが気になります。今一度、事故防止について職員への周知をお願いします。
- ② 一段と新型コロナウイルスの広がりが見られている中、日々のケアや研修会等大変かと思えます。今後も継続して感染予防に努めながらより良いケアの提供を続けるようお願いします。
- ③ 感染予防等により居室で過ごす時間が増えた為かとは思いますが、11月に続けて大きな事故が発生しています。大きな事故が発生すると治療中は活動が制限されたりする為、それにより身体機能の低下や認知症の悪化等出てきます。事故が起きないようにと職員も過敏になる恐れもあるので極力大きな事故は発生しないよう日頃から随時検討してください。
- ④ 寒い時期で動きも鈍りがち、事故には特に注意をし、底の見えないこの中、入居者の守りに万全の姿勢をお願いします。
- ⑤ 要介護度の高い方が生活されている施設だが、10月11月のそれぞれの月に入所者の方々用の活動を準備し少しでも楽しい生活が送れるように工夫されている。
- ⑥ 職員は勉強会研修会に積極的に参加され研修を重ねている。事故を少しでも少なくするための努力をされている。しっかりとした施設の生活が行われている。
- ⑦ コロナ禍で面会も難しくなって淋しい1年でしたが、テレビ面会をしてるので助かっています。大変だとは思いますが、主人も今までと変わりなく過ごせていければと思っています。
- ⑧ オンラインセミナーやWEBセミナー等にも積極的に参加されていると思います。
- ⑨ コロナ禍での看取り介護もあり面会制限のある状況でご家族にどのような配慮をされたのか等教えて欲しい。
- ⑩ 新たな年を迎えてもコロナがリセットされない現状はとても残念でなりません。ご入居者様、職員の方々、皆様お変わりありませんか。コロナの感染者が拡大してきていますので、どうぞお気を付けてお過ごしください。

7 要望、助言に対する考え方	
----------------	--

- ⑨ 原則面会制限を行っていますが、看取り期となった方は、予防対策と健康チェックの上、時間、人数などの調整をし、ベランダから直接居室に入ってもらった形で限定的に面会を実施しています。しかし、以前と比べ、十分ご家族とお会いできる形ではないため、より丁寧な状態説明や意向の確認を心掛けています。
- ①③ 事故の発生予防には努めているが、残念ながら2件の重大事故が発生しています。1件については、その後、リフトを導入し、無理なく入浴できるように検討を行った。また、もう1件のケースについては、転倒後に別の病気もみつきり、予測できなかった面も課題として残っています。起こってしまった事故には、ご家族様への対応も含めて、誠心誠意対応を行い、今後の予防策へとつなげていけるよう努力したいと思います。
- ②⑥ オンラインでの研修やセミナーも増えてきており、内部研修でも新しい研修の形ができつつあります。今後も感染症予防をしつつ、より良いケアができるよう継続的な研修に努めていきたい。

8 その他特記事項	
-----------	--